

製品名: PINK1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85907**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	62.8kDa

抗原情報

遺伝子名	PINK1
別名	Serine/threonine-protein kinase PINK1, mitochondrial, BRPK, PTEN-induced putative kinase protein 1, PINK1
遺伝子 ID	65018.0
SwissProt ID	Q9BXM7
免疫原	このモノクローナル抗体を生成するために、組み換え PINK1 タンパク質が使用されました。

背景

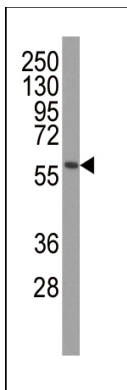
この遺伝子は、ミトコンドリアに局在するセリン/スレオニンプロテインキナーゼをコードしています。ストレス誘発性のミトコン

ドリア機能不全から細胞を保護すると考えられています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性遺伝性の早発性パーキンソン病の一種を引き起こします。

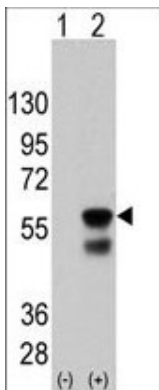
研究分野

オートファジー

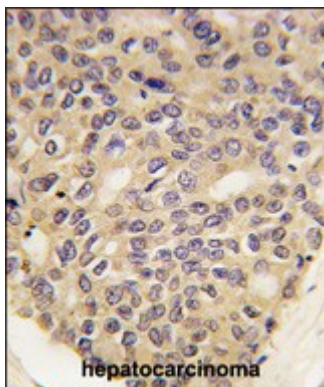
画像データ



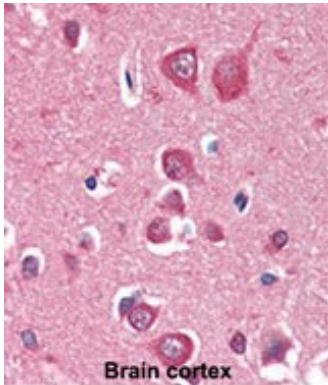
マウス脳組織ライセート中の抗 PINK1 モノクローナル抗体 (PINK1 マウスモノクローナル抗体) のウェスタンブロット解析。PINK1 (矢印) は腹水モノクローナル抗体を用いて検出した (希釈倍率 1:500)。



マウスモノクローナル PINK 抗体 (腹水) を用いた PINK (矢印) のウェスタンブロット解析。293 細胞ライセート (2 μ g/レーン) を、非トランスフェクション (レーン 1) または PINK 遺伝子を一時的にトランスフェクト (レーン 2) (Origene Technologies) (1:2000)



ホルマリン固定パラフィン包埋ヒト肝癌組織を、二次抗体にペルオキシダーゼ標識した PINK1 モノクローナル抗体 (カタログ番号 AMM85907) と反応させ、DAB 染色を行った。本データは、この抗体の免疫組織化学染色への応用を示すものであり、臨床的意義は評価されていない。



ホルマリン固定パラフィン包埋ヒト脳皮質組織を、PINK1 モノクローナル抗体（カタログ番号 AMM85907）と反応させ、ペルオキシダーゼ標識二次抗体を調製した後、AEC染色を行った。本データは、この抗体の免疫組織化学染色への応用を示すものであり、臨床的意義は評価されていない。